

各位

東京メトロポリタンテレビジョン株式会社
(TOKYO MX)

TOKYO MX

第17期(2009年度)決算

東京メトロポリタンテレビジョン株式会社（TOKYO MX）は、本日開催した取締役会において2009年度決算案を承認しました。

また、本日開催の取締役会において、代表取締役社長の大木充が退任し、後任の代表取締役社長として中川謙三（前代表取締役専務）を選任しました。

< 新任代表取締役社長の略歴 >

氏名	中川 謙三（なかがわ けんぞう）
生年月日	1946年（昭和21年）4月18日生
経歴	1971年（昭和46年）東京大学法学部卒 1971年（昭和46年）鹿島建設株式会社入社 1985年（昭和60年）経済企画庁長官秘書官 1998年（平成10年）東京メトロポリタンテレビジョン株式会社 取締役 2002年（平成14年）同 代表取締役専務 2010年（平成22年）東京メトロポリタンテレビジョン株式会社 代表取締役社長（5月21日就任）

2010年5月21日

TOKYO MX

TOKYO MX 第17期(2009年度)決算説明

(単位：百万円)

	第17期(2009年度)	第16期(2008年度)	増減額	前期比
売上高	7,502	7,943	△440	94.5%
売上原価	5,512	5,770	△257	95.5%
売上総利益	1,990	2,172	△182	91.6%
販売費及び 一般管理費	1,728	1,834	△105	94.2%
営業利益	261	338	△76	77.3%
経常利益	225	306	△80	73.6%
特別利益	0	6	△6	
特別損失	64	24	39	
当期純利益	157	284	△126	55.4%
繰越利益 剰余金	30	△126	157	

《8期連続で経常黒字を達成し、繰越損失を解消》

5月21日(金)、東京メトロポリタンテレビジョン株式会社(TOKYO MX)は、半蔵門の本社会議室で決算取締役会を開き、第17期の事業報告及び計算書類並びにこれらの附属明細書を承認しました。

第17期(2009年度)決算として、売上高は75億200万円(前期比4億4,000万円減、94.5%)と減少し、売上原価・販売費及び一般管理費の合計が72億4,100万円(前期比3億6,300万円減、95.2%)となった結果、営業利益は2億6,100万円(前期比7,600万円減、77.3%)、経常利益は2億2,500万円(前期比8,000万円減、73.6%)の減収減益となりましたが、8期連続して経常損益の黒字を達成し、来年7月のアナログ停波により不要となるアナログ中継局等の減損損失を計上後の当期純利益は1億5,700万円(前期比1億2,600万円減、55.4%)となり、期首に1億2,600万円あった繰越損失を解消しました。

また、事業収入の内訳として、「放送事業」は売上高61億3,200万円(前期比1,600万円減、99.7%)、「その他事業」は、売上高13億7,000万円(前期比4億2,300万円減、76.4%)となっています。

なお、2010年度計画においては、売上高は77億2,900万円、経常利益は3億2,100万円としています。

<2009年度事業概況>

2009年春の番組改編では、朝・夕・夜の生ワイド番組を基軸に、国際都市・東京のエリア局としての情報発信体制を整えました。平日夜9時台には、当社としては初めてとなるゴールデンタイムの生ワイド番組「ザ・ゴールデンアワー」をスタートさせ、外国人パネリストによる“国際都市・東京”ならではの比較文化論を中心とした情報バラエティとして注目を集めました。また、他局では編成していない平日夜8時台にニュース番組を新設し、地域性と国際性を備えた報道番組として新たな視聴者層を開拓したほか、7月の東京都議会議員選挙、8月の衆議院議員選挙及び10月の2016年オリンピック・パラリンピックの開催都市決定など、大型の報道特別番組3本を総力を挙げて取材、放送いたしました。

また、新しい取組として、東京都議会議員選挙及び衆議院議員選挙において民放初めてとなる番組一体型データ放送を実施したほか、12月からは「U・L A・L A@7」内で、国内の放送局としては初の試みとなるWeb上のT w i t t e rとの連動により、視聴者の声をリアルタイムで本放送画面に反映させました。

スポーツ中継では、2007年から放送を開始した福岡ソフトバンクホークス戦（ヤフードーム）を昨シーズンは42試合放送したほか、F C東京戦を11試合中継し、応援番組「F C東京ホットライン」とともに更にF C東京の人気を高めることに寄与しました。なお、当社は昨年11月に東京フットボールクラブ株式会社（F C東京）に追加出資を行い、中核企業（オフィシャル放送局）の一員となりました。

多様なイベント事業の展開としては、恒例の電池フェスタ、親子映画試写会、ワクワク・チャリティ ウォーク&ラン、ポリショイサーカス等のほか、9月には大規模自転車ロングライド「TOKYOセンチュリーライド」を開催し、今年3月には「半蔵門トライアル・皇居一周ロードレース」をTOKYO FMと共催しました。また、今年3月には東京スカイツリーのお膝元、曳舟で「東京スカイ座—曳舟寄席」を誕生させました。

このほか、“TOKYO MX=地デジ9ch”を広くPRするため、ビジュアル・アイデンティティの「ゆめらいおん」同様、キャラクターロゴの制作をアーティスト・村上隆氏に依頼し、キャッチコピーを「キュ〜ト! 9ch」として、5月から地デジ9chキャンペーンを展開しました。

以 上

2010年5月21日現在

(新任) 代表取締役社長 経歴書

中川 謙三 (なかがわ けんぞう)

① 生年月日 昭和21年(1946年)4月18日 生

② 年齢 満64歳

③ 出身地 福井県

④ 学歴 東京大学 法学部 卒

⑤ 経歴

1971年(昭和46年) 東京大学 法学部 卒

1971年(昭和46年) 鹿島建設株式会社 入社

1985年(昭和60年) 経済企画庁長官秘書官

1998年(平成10年) 東京メトロポリタンテレビジョン(株) 取締役

2002年(平成14年) 同 代表取締役専務

2010年(平成22年) 東京メトロポリタンテレビジョン(株)

代表取締役社長 (5月21日就任)

以上

東京メトロポリタンテレビジョン株式会社

役員担務一覧

(2010年5月21日現在)

取締役会長	後藤 亘	(株)エフエム東京 取締役相談役
代表取締役社長	中川 謙三	<経営全般、コンプライアンス担当、リスク担当、グループ会社担当、編成部長委嘱>
常務取締役	田沼 純	<営業本部長委嘱、新タワー関連特命事項担当>
常務取締役	梶原 康二	<総務担当>
取締役	本間 雅之	<編成本部副本部長・編成局長委嘱>
取締役	横山 博己	<営業本部副本部長・営業局長委嘱>
取締役相談役	細野 邦彦	<会長特命事項担当>
取締役(非常勤)	荒屋 昌夫	(株)中日新聞社 相談役
	池田 克朗	三井住友海上火災保険(株) 取締役常務執行役員
	池田 守男	(株)資生堂 相談役
	馬野 耕至	(株)読売新聞東京本社 メディア戦略局専門委員
	角川 歴彦	(株)角川グループホールディングス 代表取締役会長 兼 C. E. O.
	唐島 夏生	(株)エフエム東京 常務取締役
	坂本 健	東京都板橋区長
	中村 利雄	東京商工会議所 専務理事
	林 有厚	(株)東京ドーム 代表取締役会長
	古岡 滉	(財)才能開発教育研究財団 理事長
特別顧問	岡村 正	東京商工会議所 会頭
常勤監査役	河内 功	
監査役(非常勤)	埴 章次	東京電力(株) 顧問
	星 正幸	(株)みずほコーポレート銀行 執行役員 コーポレートバンキングユニット副担当役員

なお、6月18日の第17回定時株主総会終了の時をもちまして、取締役 荒屋昌夫と取締役 池田克朗は任期満了による退任、監査役 星 正幸は 辞任予定でございます。

株主総会において、上記2名以外の取締役15名は再任、新たに、岸本保夫氏(三井住友海上火災保険(株) 取締役常務執行役員 金融サービス本部長)、水野和伸氏(株)中日新聞社 取締役電子電波担当)の選任を予定しております。

また、落合 悟氏(株)みずほコーポレート銀行 営業第十七部部長)を、監査役として選任の予定です。

以上